

弥富市総合交通戦略

概要版



2021年3月
弥富市

1 弥富市総合交通戦略について

■計画策定の背景と目的

弥富市(以下「本市」という。)における交通課題に対応し、交通結節点である弥富駅を中心とした利便性の高い、安全・安心して利用できるにぎわいのある空間を構築するため、JR・名鉄弥富駅の自由通路及び橋上駅舎の整備や駅前広場、自転車駐車場などの交通結節点の強化を図る必要があります。また、地域拠点との連携を強化するため、バスやタクシーなどの地域公共交通の維持向上や利用促進、及び道路ネットワークの整備強化を図る必要があります。

そこで、望ましい将来都市像の実現のため、まちづくりの根幹としても非常に重要な役割を担う都市交通について、体系的な方向性を示し、関係部局・機関・団体等が相互に協力し、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図るため「弥富市総合交通戦略」(以下「本計画」という。)を策定します。

■計画の対象区域

本計画の対象区域は、本市全域とします。

■計画の期間

本計画は、第2次弥富市総合計画及び弥富市都市計画マスタープランが見据える令和10(2028)年度の都市の将来像を見据えた都市交通の方針を示した上で、都市の将来像を実現するために令和10(2028)年度までの短・中期的に着手すべき施策や進捗管理等について定めます。

令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度以降 (2029年度以降)
短期(3年)			中期(5年)					長期
								総合計画都市マスタープラン 目標年

■計画の構成・位置づけ



2 弥富市が目指す都市交通の将来像、戦略目標と施策実施方針

都市交通の将来像

地域が繋がり人がにぎわう、快適な都市交通の実現 ~移動環境が整ったまち・弥富~

都市交通の課題	戦略目標・施策実施方針	施策パッケージ
①交通結節点機能の向上 ・アクセスの良さを活かした公共交通利用促進 ・駅周辺施設のバリアフリー化 ・公共交通乗り継ぎ利用者のための乗降場の整備	1.「交通結節点でのにぎわいを生み出す多様な移動環境づくり」 方針1 にぎわいを創出する弥富駅の交通結節機能の強化 方針2 多様な移動環境に対応した駅周辺のバリアフリー化	1.「利便性の高い交通結節点の形成」 1-1 自由通路・橋上駅舎化 1-2 駅前広場の整備 1-3 駅周辺市街地整備
②将来の動向を見据えた公共交通網の構築 ・運転免許返納者に対する移動支援 ・地球温暖化抑制のための公共交通への利用転換 ・公共交通空白地域における公共交通移動環境の創出 ・公共交通体系の再構築 ・市外移動における公共交通相互の連携	2.「誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークによる移動支援づくり」 方針1 人々の日常の移動を支える公共交通の利便性向上 方針2 周辺自治体との広域公共交通ネットワークの形成 方針3 誰もが快適に利用できる多様な移動支援策の拡充	2.「移動を支える公共交通サービスの拡充」 2-1 公共交通体系を支える取組みの推進 2-2 コミュニティバスの利便性向上、利用促進 2-3 福祉との連携
③高齢化の進展に備えた移動支援策の拡充 ・タクシーの活用による外出しやすい環境づくり ・交通弱者に対する移動支援策の拡充		
④都市間や地域間連携強化に寄与する道路ネットワークの整備 ・ボトルネックとなる路線や踏切の渋滞解消 ・未整備都市計画道路の整備 ・都市間や地域間連携強化に寄与する道路ネットワークの整備	3.「都市拠点や地域生活拠点を中心に周辺都市や各地域を効果的に結ぶ道路体系づくり」 方針1 周辺都市や各拠点間を結ぶ道路ネットワークの強化 方針2 ボトルネックの解消による交通の円滑化	3.「周辺都市や地域の連携を円滑化する道路ネットワークの整備」 3-1 都市計画道路等の整備推進と見直し 3-2 広域的なアクセス機能の強化 3-3 橋梁の修繕及び長寿命化の推進 3-4 ボトルネックの解消
⑤安全性向上及び防災に寄与する道路空間の整備 ・歩行者や自転車安全、安心で快適に通行できる環境の形成 ・狭い道路の安全性・防災性の向上	4.「移動しやすい安全・安心で快適な道路空間づくり」 方針1 移動しやすい歩行者・自転車空間の連続性確保 方針2 安全・安心な道路環境形成に向けた防災・減災対策の推進 方針3 多様な移動環境における交通安全の意識向上	4.「安全・快適な道路空間の確保」 4-1 交通安全対策の推進 4-2 歩行者・自転車空間の整備 4-3 道路防災対策への助成

5 事業評価・推進体制

■事業推進体制

実施推進にあたっては、本計画の策定主体である弥富市が中心となり、関係者と連携を図り、事業の進捗状況を把握、確認するとともに、必要に応じて関係者との調整や情報交換を行うこととします。



■事業評価・改善の仕組み



実各実施主体が、各年度において個別事業の実施と進捗管理を行うことで、着実な事業実施に向けた環境を確保します。また、令和5年度(短期目標)に中間評価を行い、実施事業全体の効果と進捗状況を把握し、必要に応じて改善等を行います。目標年次である令和10年度(中期目標)には、実施事業全体の進捗状況と評価指標の達成状況を見直し、弥富市総合交通戦略の改定を行うPDCAサイクルを構築して進めていきます。



お問い合わせ先

弥富市建設部都市整備課都市計画グループ
 〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335
 TEL:0567-65-1111 FAX:0567-67-4011

4 評価指標



指標	施策パッケージ1	施策パッケージ2	施策パッケージ3	施策パッケージ4	現況	目標値		備考
	利便性の高い交通結節点の形成	移動を支える公共交通サービスの拡充	周辺都市や地域の連携を円滑化する道路ネットワークの整備	安全・快適な道路空間の確保		平成30年度(2018年度)	令和5年度(2023年度)	
1 鉄道駅の利用者数	◎	○			766万人/年 (20,975人/日)	769万人/年以上	773万人/年以上	弥富市立地適正化計画(乗降客数)
2 電車・駅関連施設の利用しやすさの点数	◎	○	○	○	2.8	2.8以上	3.0以上	都市計画マスタープラン市民アンケート
3 コミュニティバスの利用者数	○	◎			全体 8.3万人/年 北部ルート 3.3万人/年 南部ルート 3.6万人/年 東部ルート 1.4万人/年 ※令和元年度	全体 9.4万人/年以上 北部ルート 4.1万人/年以上 南部ルート 3.5万人/年以上 東部ルート 1.8万人/年以上	全体 10万人/年以上 北部ルート 4.5万人/年以上 南部ルート 3.5万人/年以上 東部ルート 2.0万人/年以上	弥富市地域公共交通計画(利用実態調査)
4 都市計画道路整備率			◎	○	29.12km 55.1%	29.12km 55.1%	29.57km 55.9%	弥富市資料
5 幹線道路の平均旅行速度			◎	○	27.5km/h ※平成27年度	28.4km/h以上	31.7km/h以上	道路交通センサス
6 交通事故件数			○	◎	215件	200件以下	180件以下	弥富市資料